

## 第23回「中央展」を終えて

都立西高等学校主任教諭 伊 藤  
(都高文連 美術・工芸部門 事務局長)

平成24年度東京都高等学校文化祭  
美術・工芸部門 第23回「中央展」  
会 期：平成24年12月13日（木）  
～12月16日（日）  
会 場：東京都美術館  
参加校数：112校（公立105校、国立1校、  
私立6校）  
出品点数：839点  
(平面739、立体96、映像4)  
入場者数：1903人  
受賞作品：東京都教育委員会賞7点  
(全国高等学校総合文化祭推薦作品)  
東京都高文連会長賞4点  
奨励賞10点  
都高文連表彰推薦者(3年)2名

### 1. 23回中央展概要

上記の通り、東京都高等学校文化祭 美術・工芸部門第23回「中央展」が開催されました。今年は昨年のアート・コンプレックスセンターに引き続き、初めての会場である東京都美術館での開催でした。我々実行委員はたびたび会合を持ち、遅くまで話し合い、ようやく開催まで漕ぎ着けました。参加校は昨年度から3校増の112校で過去最高に、展示作品数は壁面制限の影響で大幅減であった昨年に比べると120点増の、839点でした。

東京都美術館での開催は、参加校増の影響で手狭になっていた東京芸術劇場に比べ、壁面割り付けの面ではだいぶ余裕ができる、と当初は考えておりました。しかし実際打ち合わせを始めてみると意外に狭いことがわかりました。芸術劇場より広いことは確かです

が、壁面の大盤振る舞いはできない状況であることがわかりました。また直接手で持参しての搬入は一切禁止、作品の運搬は全て業者が行うように美術館側から厳しく言われました。それらの点が参加校の皆様確実に伝わるかが、我々実行委員の一番の懸念材料でした。したがって、壁面希望調査用紙には昨年同様上限を設け、代表者会議も9月に戻さずに7月に行った方が良く判断し、実施しました。

搬入日の作業はこれまでと違い、前日に既に搬入されていた作品を倉庫から運び出し、展示するという内容でした。展示方法も、美術館のフックを借りて吊るすという形で、これまでとは変わりました。これに関しては、芸術劇場のワイヤーに比べると非常にやりやすかったという感想を多くいただきました。

搬出の際にはやはりやや混乱がありました。限られた時間の中で112校が一斉に運び出す訳ですから、なかなかスムーズにはいかないものなのかもしれませんが、来年度は改善すべく方法を考えます。しかし、先生方も生徒さん達も粛々と作業を進めて下さいました。ご協力、本当に感謝申し上げます。



講評タイムの様子

### 2. 今後の課題～顧問アンケートより～

来年度中央展の課題は、なんとと言っても会期です。日にち固定で予約することしかできない東京都美術館の弊害として、来年度の搬出日をこれまで通り休日にする、と、会期が大幅に減ってしまうのです。(逆に再来年度は大幅増の可能性もあり) 我々実行委員は2つ

の案をお出しし、参加校の先生方にご意見を伺いました。アンケートの集計結果はこの後に記載しておりますのでご参照ください。日程は実行委員会で決定し、後日総会等でお知らせいたします。

今年の会期は、例年要望が強かった12月3週目に行いました。アンケートをみる限りこの時期の開催について良いという意見が多数です。ただし、成績会議と搬入・搬出日が重ならないようにしなくてはならないという新たな課題も浮上してきております。



開票作業の様子

### 3. 都高文連に関して

昨年に続き今年も、生徒研修会を夏休みに開催しました。今年は、多数参加してくれた昨年に比べると参加人数がやや減りましたが、非常に好評な企画ですので今後も続けていく予定です。

都高文連美術・工芸部門の運営は有志メン

バーで行っていますが、現状は同じ方が長年にわたって実行委員を続けざるを得ない状況です。通常の職務が年々増加の一途という現状ではありますが、都高文連部門事務局（事実上の中央展実行委員会）への更なるご理解とご協力を重ねてお願い致します。

### 4. 全国高総文祭に関して

昨年の紀要に、全国高等学校総合文化祭が平成34年に東京で行われる可能性について述べましたが、開催が決定となりました。教育庁の方では早速準備作業に入っております。

なお、平成22年度に加盟校数が100校を超えましたので、28年度から5年間の全国高総文祭推薦作品（平成27年度以降の中央展で推薦）が現行の7点（平面5・立体2）から10点（平面7・立体3）になります。（150校を超えると14点（平面9・立体5）になります）

### 5. まとめ

中央展の今後の日程調整の面など、運営面での課題は山積しています。でも、美術・工芸系部活動の貴重な発表の場である「中央展」が更に発展すること、また生徒間の交流や研修が盛んになっていくことは大変喜ばしいことです。今後とも努力して参りますので、何卒ご協力宜しくお願い致します。

#### （参考）「中央展」過去10回の記録

年 度	回 数	参加校数	出品点数	入場者数	会 場
平成15年度	(第14回)	61	847	3270	東京芸術劇場
平成16年度	(第15回)	61	777	2955	東京芸術劇場
平成17年度	(第16回)	72	965	2500	東京芸術劇場
平成18年度	(第17回)	72	583	4500	東京芸術劇場
平成19年度	(第18回)	76	763	4500	東京芸術劇場
平成20年度	(第19回)	84	740	5412	東京芸術劇場
平成21年度	(第20回)	94	787	6666	東京芸術劇場
平成22年度	(第21回)	102	872	6032	東京芸術劇場
平成23年度	(第22回)	109	719	3194	アート・コンプレックスセンター
平成24年度	(第23回)	112	839	1903	東京都美術館

\*入場者数は、平成23年度まで各展示スペースでカウントした数を合計し、算出していました。平成24年度からは展示スペースが一つとなったため、数字としては減少しています。

第23回「中央展」参加校顧問アンケートまとめ 回答数71(46) \* ( )は昨年度の数値

来年度会期	案1 搬出日が日曜	案2 搬入日が土曜	別案	
	59 83%	11 15%	1 1%	
会 期	12月の3週目でよい	変更した方がよい	わからない	無回答
	57 80% (37)	3 4% (5)	7 10% (4)	4 6% (0)
会 場	今のままでよい	変更した方がよい	わからない	無回答
	58 82%	4 6%	8 11%	1 1%
代表者会議	57 80% (41)	1 1% (1)	6 8% (4)	7 10% (0)
搬入・搬出	60 85% (41)	2 3% (2)	2 3% (3)	7 10% (0)
講評タイム	55 77% (45)	4 6% (1)	4 6% (0)	8 11% (0)
開・閉会式	59 83% (43)	2 3% (1)	3 4% (2)	7 10% (0)
受賞作品選考	54 76% (39)	6 8% (4)	4 6% (3)	7 10% (0)
役割分担	43 60% (37)	0 0% (3)	8 11% (6)	20 28% (0)
生徒研修会時期	41 58% (29)	0 0% (2)	19 27% (12)	11 15% (3)
生徒研修会内容	34 48% (26)	0 0% (0)	25 35% (14)	12 17% (6)
教員票、生徒票の差	設けた方がよい	差はない方がよい	わからない	無回答
	17 24%	27 38%	8 11%	19 27%
役員人事	来年度可能	再来年度可能	現状では不可	無回答
	6 8% (8)	4 6% (5)	47 66% (28)	14 20% (5)

各項目についての意見（抜粋）

- 来年度会期 ・土日の来場者は平日の2倍以上と多いので、土日が両日とも会期に入っていた方がよいと思います。  
 ・成績処理、会議等との兼ね合いは、美術科以外の教員（英語）で教務部だったりすると、モーレツに厳しい。  
 ・12、13日に搬入。または14日AM準備、14:00公開とか。
- 会 期 ・本年は期末考査後であったので、準備当日生徒が参加でき、充実していた。いつも試験中に当たり、生徒が準備作業に携わることができず、苦慮（OB、OGのみで準備）していたので、本当に助かった。今後もこの時期にして欲しい。  
 ・可能ならあと1週間前の方がよい。
- 会 場 ・期間が短くても美術館に自分の作品が飾られるという体験は生徒達にとって何にかえがたいものだと思います。同じ場所で続けた方がみなさん慣れてやりやすくなると思います。  
 ・これまでの会場より照明も明るく、作品が見やすいと思います。飾り付けもフックなのでワイヤーよりも調整しやすいと思います。  
 ・多摩地区の学校に少しでも近いところ。  
 ・東京芸術劇場にもどす。（書道は芸術劇場で行うようです）
- 代表者会議 ・夏季休業日の前日であるため、忙しいと思います。もう少し早くてもよいのではないのでしょうか？いかがでしょう。
- 搬入・搬出 ・搬入、搬出時に来る生徒数を各校3～4名以内等というふうに制限してほしいです。人が多すぎて作業しづらいです。  
 ・搬入は開会式の1時間前に終わる時間設定にする。浮いた1時間は点検にあてる。  
 ・搬入は土日の方がよいと思います。
- 講評タイム ・講評タイムは30分でよい。  
 ・講評タイムはもう少し長くても…。
- 開・閉会式 ・閉会式には顧問と代表者のみの参加で、その間生徒のみで梱包作業をさせて発送させる事は不安が残ります。きちんと梱包できているか、顧問が確認できる時程が良いと思います。
- 受賞作品選考 ・2点入れる枠は、後から記入できる方がいい。10点選んで後から2点の作品を選ぶようにしたい。  
 ・何も賞がもらえない学校は必ず一校一名「〇〇賞」などを設けると励みになると思います。その学校の中で一番得票の多かった作品にあげる。全て0票だった場合は役員が選ぶなどすれば良いと思います。今のままではあまりにも倍率が高すぎます。  
 ・専門的な目で見ていただいた点数を1.5倍から2倍にすると、より正確に選考できるように思われます。  
 ・入賞者はたくさん選出した方がよいと考える。賞がすべてではありませんが、賞をもらうことにより生徒の励みになると思います。また、学校にも美術（教育）のアピールになるかなと。
- 教員票、生徒票の差 ・教員にも美術以外の方もいらっしゃるし、美術でも専門はそれぞれで評価基準をどこに置か難いでしょうね。生徒達は自分たちの票と教員票が同じ重さを知り、とても真剣に選考していました。個人的には2点枠は必要ないと思います。  
 ・生徒と同じだと生徒の好み、イラスト系に流れるかと思いますが、どちらでもよいです。  
 ・教員2点、生徒1点などと差を設けた方がよい。
- 生徒研修会 ・8月の終わりは授業をスタートしている学校もある。日程は検討してもらえると良いと思うが、難しいですね。
- 役員 ・役員は持ち回りで強制的に分担させてもよい。（同様意見3）
- その他 ・実施細目、いろいろな提出物、タイトル用紙などをTAIMSで送ってください。  
 ・DMの数が足りないです。今の5倍くらい必要です。  
 ・参加書類をFAXでとのことでしたが、FAXが届いているのか、参加できるのか運送会社から連絡があるまでとても不安でした。届いていることをネットなどで確認できるとありがたいです。  
 ・会場探しゃなんやかんやでご苦勞のあった2年間だったと思います。ありがとうございました。都美館は、広くて展示しやすく良い会場だと思います。  
 ・私立高校として、毎年「中央展」に参加させて頂いて頂いていることに、深く感謝しております。都立高校の生徒さん達の沢山のすばらしいお作品に直接ふれることにより、よい刺激を頂いております。  
 ・係の先生方、おつかれさまでした。ありがとうございました。（同様意見18）

# 受賞作品

〈東京都教育委員会賞〉（全国高等学校総合文化祭 推薦作品） 7点



都立片倉高校



都立若葉総合高校（立体）



都立片倉高校



都立上野高校



都立若葉総合高校

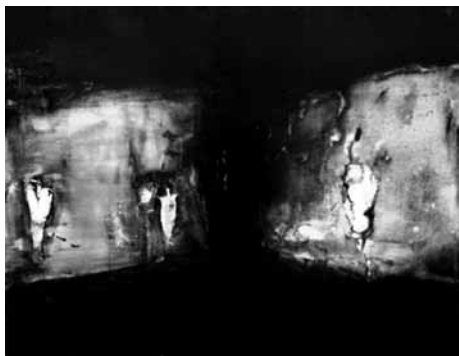


都立日比谷高校

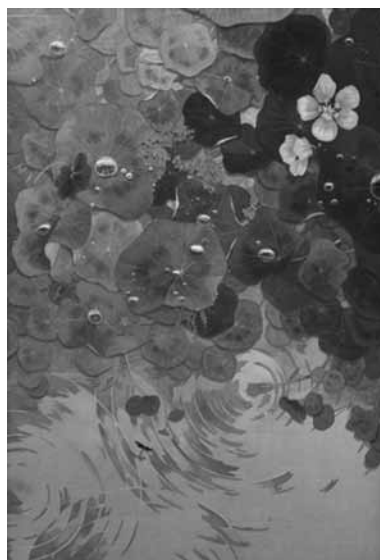


都立狛江高校（立体）

< 高文連会長賞 > 4点



都立総合芸術高校



都立総合芸術高校



都立若葉総合高校



都立立川高校

< 奨励賞 > 14点



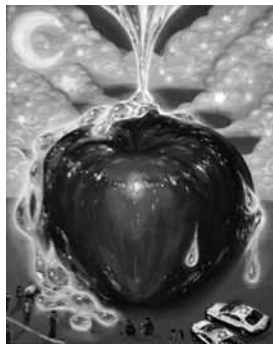
都立両国高校



都立三鷹高校



都立三鷹高校



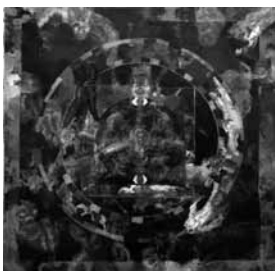
都立保谷高校



都立府中西高校



日本橋女学館高校(立体)



都立立川高校



都立国分寺高校



都立大泉桜高校



日本橋女学館高校